

ナマステ

特定非営利活動法人
自然文化誌研究会 会報誌



114 号

2014 年 1 月 10 日発行号

←植物と人々の博物館ロゴマーク。

2014 年、今年もよろしくお祈いします！！

年内の活動も無事に終了し、新年度を迎えました。大きな事故も無く、1 年を過ごすことができ、協力いただきました皆さまのご尽力に感謝しております。

今年は小菅村で本格的に活動を開始して、10 年目の節目の年でもあります。今年もよろしくお祈いします！！

活動報告

その1 「冒険学校まふゆのキャンプ」報告 12.21~23(2泊3日)

キャンプ場は一面真っ白～！！12 月 18 日～19 日に降った雪は 15cm 程ですが、冬は日陰になるキャンプ場はちょうど良く雪が残ってくれました！！参加者 9 名。スタッフは総勢 25 名の本会らしいキャンプの体制で、2 泊 3 日の「冒険学校 まふゆのキャンプ」は始まりました。



キャンプ場でミニスキーもできました～。

ナマステ 114 号 —もくじ—

冬の活動のご案内	5
第 10 回通常総会のご案内	6
INCH の楽しい仲間たち VOL.5	7
事務局だより	8
※ 植物と人々の博物館 VOL.14、小菅村の動き VOL.14 はお休みです～。	

<参加者の声> ソリが作れるなんて思わなかった。雪があってうれしかった。(～中略～) 夏もぜったいいき



自分たちで道の整備をして・・・



ひたすらひたすら繰り返し・・・



ソリ遊びのコースも作ります。



遅れた上に、ページ数が少ないなっ！！



ソリ作り。竹も切りに行ったね！！



車のわだちでなかなか滑りづかった・・。



大事に取ってあるぞい。



猟師の方(青柳万寿男さん)のお話を聞き、クマの毛皮も見せてもらいました。



2 日目の星空観察は、空の具合も良かったなあ～。



中学生たちは、雪を集め、かまくらを作り過ごしました～。



ソリに使う竹を切りに、村の人を訪ね、おやつをごちそうになりました。

その他にも、廣瀬屋旅館さんのご協力の下、餅つきや、薪割り、焚き火もずーとしながら、寒さを楽しむことができたキャンプになりました。新スタッフも 6 名(皆女性)も活躍！今後ともよろしく願いしま～す。(事務局)



その2 のびと講座「星空観望会」

12.7~8(1泊2日)

「アイソン大彗星がやってくる！！ハレー彗星を超えるか！？」と、準備していましたが、直前になって、アイソン彗星は消滅…。しかし、星が良く見えるこの季節、寒空の中、多くの参加者の皆さまにお越しいただきました。

前の週の 11/30-12/1 に、練習も兼ねてオプションツアーを実施しました。早い人は、金曜日の晩に小菅入り。二晩星空を見ることができました。



夜中の 2 時頃に出発。小菅村の中で、空が開けていて、明かりのないところへ移動します。今年は、5 月の「冒険学校むらまつりキャンプ」でも訪れる、松姫峠に近い、浅間様(毎年 5 月 5 日に、小永田地区による神代神楽が奉納される)で星空観望会を行いました。

氷点下の中、明け方の 6 時過ぎまで寝袋に入りながら、眺め続けます。もちろん望遠鏡も用意しています。

夜中の写真は無いので、朝を迎えて撤収している時の写真です。

出発の時間までに、それぞれ仮眠をしておきます。仮眠しておかないと寒空の下で観望ではなく、野宿になります。



12/1 朝 5:15 頃、西の空から木星くらいの明るい光が動いてる！ なにあれ？早い！！！UFO？
と思ったのですが、正解はこれでした。そう！国際宇宙ステーション！若田さん！

感動した～～～！極寒の午前五時、みんなのテンションは異常だったので、若田さんかもしれないからと、たくさんエールを送りましたwww (はるこ)

その3 「INCHまつり～INCHライブときのご探り」10.5～6(1泊2日)

好き勝手 INCHまつり

まし（横山昌佳さん）

東屋の囲炉裏に火をくべて、寝る。ゴミさんと藤本さんがきのご探りに行ってしまうとキャンプ場はひどく静かで、流しでは小林（慶亮）さんが熱心に朝の舞茸を洗っている。畑の栽培ものではない。ゴミさんと小林さんの見つけた天然の舞茸は何と五株もあり、「日本で一番の収穫ですよ」とゴミさんが豪語するのも頷ける収穫だった。

銀マットに寝転んで見上げると、昨日の雨降りが嘘のよう、雲が悠々と流れる晴天である。こんな日は、日がな一日ビールなど飲んで過ごしたいが、誰もいないからそうもいかない。いそいそとキッチンを片付けたり、濡れた銀マットを干したり。

ピューイ、ピューイ、ピューイ、と、森の遠くで鳴き声をする。

「鹿か？」

小林さんが訊くので、

「鹿だね」

と答えると、

「捕まえて来い」

背中でのたまった。



INCH ライブ屋の図。新ログハウスの1階で。

雨降りの「INCHまつり」は午後の二時くらいから始まった。山田さんの自作の歌（友達って、いいな～♪）や、鈴木さんの歌う「飛梅」、そしてゴミさんの「少年時代」など、楽しいのや懐かしいのを聴いているうちに、時間はどんどん過ぎてしまう。

ラ「あまちゃん」の主題歌が流れ、「潮騒のメモリーズ」では振り付けもあり、木材置き場のパイプ椅子席は大盛り上がり。ゴメさんが貼り付けた演目通りに進んでいたはずが、途中から何だかカラオケのようになり、そのまま好き勝手な夜に突入した。

遅いなあ、遅いなあ、とそわそわ待っていたひでやんもようやく到着し、早速、酒瓶を並べてもらってバー・タイムが始まった。みんなそれぞれ好きな酒、好きな色などをもとに、それぞれのカクテルを注文する。「幻のワイン」なるものも出た。ようやく二十歳になる甲斐は「カクテルの基本」として正しいジン・フィズを作ってもらい、じつに嬉しそうな顔を見せた。

ゴメさんが歌っている。

ノーは言わない、イエス・マン
出世したいぜ、 イエス・マン
カッコつけるぜ、イエス・マン
カッコ悪いぜ、 イエス・マン

（※歌詞は不詳。どうしても知りたい方は、来年どうぞ。）

ゴミさんと藤本さんが帰ってくると、その提げた籠の中には黄色の美しい「ハナイグチ」がたっぷり入っていて、小林さんが大鍋にキノコ汁をこしらえた。朝の舞茸に、ハナイグチ、それからウラベニテンホテイシメジなどがふんだんに入って、香りよし、歯触りよし、滋味の溢れるごちそうとなった。キラキラと日が差して山^{よそ}粧う。涼しい音で川が流れる。日なたのベンチで、腹いっぱいキノコ汁をたべると、身体中に秋が染み渡るようだった。

「人が少なくて残念だったねえ」

帰りの自動車でそう言うと、ゴミさんは、ふむ、いや、とどっちだか分からない返事をして、「好き勝手できるから、いいよ」と言った。

その通りだった。



当日は夏子ちゃんと早川くんの結婚式もありました(都内にて)。

■ 活動案内 ■

その 1 冒険学校「みなかみ雪中キャンプ」3.28～30(2泊3日)

利根川の源流部である、群馬県みなかみ町。その山奥で、2m の積雪の中、2 泊 3 日のキャンプを行います。キャンプ中はずっと雪の上で生活をします。焚き火も雪の上、テントも雪の上、ご飯も雪の上・・・何をするにも雪があります。そんな雪を味方にして楽しいキャンプをしよう！

ドラム缶風呂、星空(月)観察、雪山ハイキング、ソリ遊びなどなど、たくさんのおもしろいプログラムを用意してお待ちしております！

このキャンプを体験すると、どんなキャンプにも対応できる、すごい人になっちゃいますよ～♪



2m の雪中で生活しながらも焚き火は常に必要！！



お風呂はドラム缶風呂！2m の雪を掘って、ドラム缶風呂を沸かします！スタッフも一緒に入るよ♪

日 程：2014 年 3 月 28 日(金)～30 日(日)

場 所：群馬県みなかみ町 三菱 UFJ 環境財団水源の森
宿 泊：テント・雪洞・イグルーなど。

対 象：小学校 3 年生～中学校 3 年生 20 名

参加費：会員：¥18,000 非会員：¥20,000

※交通費は各自負担となります。ご相談ください。

集合と解散：上越新幹線 上毛高原駅 ※東京駅も可能です。

※寝袋や食器などのキャンプ道具は本会にいっぱいあるので、お貸しできます。

※参加希望者は、ハガキ・もしくは E-mail に住所・氏名・年齢(学年)・性別・電話番号を記入の上、3 月 14 日(金)までに事務局まで参加をお伝えください。



ジブリ風のカマクラを作りました！！



最終日。2 泊 3 日耐えた猛者たち。

この後は温泉だぜ！！

その 2 のびと講座「小菅村での味噌づくり」 3.8~9(1泊2日)

毎年恒例、手づくりの味噌づくりです。豆を煮るところからはじめて、杵で搗いて大豆をすり潰していく、昔ながらの味噌づくりを行います。1泊2日でゆっくりと昔からの味噌づくりをしませんか？

みんなで仕込んだ味噌は、1年ほど寝かして完成した後に、参加者の皆様にお届けします。

昨年好評だった、そば打ち、こんにゃくづくりも行いますよ～。



2 日目が本番。臼と杵で大豆をすり潰し続けます。

*参加希望者は、ハガキか E-mail に住所・氏名・年齢(学年)・性別・電話番号を記入の上、3月3日(月)

までに事務局まで参加をお伝えください。

日 程：2014 年 3 月 8 日(土)～9 日(日)

場 所：山梨県北都留郡小菅村のキャンプ場

宿 泊：ログハウスで寝袋でみんなで寝ます。

※宿泊施設ご希望の方はご相談ください。

対 象：小学校 3 年生～一般の方 20 名

参加費：会員：5,000 円 非会員：8,000 円

※その場で会費をいただければ、会員価格で参加可能。

(材料費、宿泊、食費、保険代が含まれています)



そば打ち、こんにゃくづくりを守屋アキ子さんに教わります～。

『第 10 回 NPO法人 自然文化誌研究会 通常総会』のご案内

2004 年に東京都の認証を受けてから、第 10 回目の総会を行います。正会員の皆様はぜひご出席ください。また出欠を同封のハガキでお知らせ下さい。このハガキは欠席の場合は委任状となっております。ご意見などもお気軽にお寄せください。なお、正会員以外の会員の皆様もオブザーバー参加が可能です。

日時：2014 年 2 月 15 日(土) 15:00 開始～16:30 終了予定

場所：小菅村 植物と人々の博物館(小菅村中央公民館)

* 自家用車でお越しいただくか、JR 奥多摩駅から西東京バス「小菅行き」に乗り、「小菅村役場前」で下車。

* 詳細は事務局まで電話かメールにてお尋ね下さい。

議題：①2013 年活動報告 ②2013 年収支報告

③2014 年活動計画 ④2014 年収支予算

⑤その他

よろしくお願いいたします。

『家を建てるまで』 vol.3 (INCH の楽しい仲間たち vol.5)

年が明けました！家づくりも着々と進んでいます。今週末からは内装に取り掛かります！！(事務局)。

はてさて黒澤家新築プロジェクトも佳境を迎えようとしています。板金屋さんに屋根を張ってもらい、外装はほとんど終了。年明けより内装に取り掛かる予定です。

最近、そこかしこで「家を建てている」「小菅村に住む」を連発しています。そうすると、やっぱり何人かに村に永住を決めるのは早くないか、とか、好き好んで住むなんてよっぽど自然が好きなのね～と言われたりします。そんなに不便なところに住むの？っていう事なんでしょう。

確かに、最寄り駅(奥多摩)までは車で 30 分掛かるし、バスの本数は少ない。車がなければ生活する上でとても不便な立地と言えます。しかもこの季節は道が凍る…。

でも、見方を変えると私にとってはとても住みやすい場所でもあります。すくなくとも、前にも言った、身の丈に合った「贅沢な暮らし」をするにはもってこいの場所です。徒歩圏内にコンビニはないけど温泉があるよ。だから新居のお風呂はアパート用のちっさいやつなんだー。床暖房とか 24h 蓄熱暖房とかは無いけど、オープン付の薪ストーブを作ってもらったよ。

おうちが出来たらやりたい事がたくさんあります。全部は無理かもしれないけどできることや作れるものはチャレンジしたい。そしてゆったり暮らしたいと思っています。去年は沢山の人に助けてもらいました。たくさん怒られて、いろいろ勉強になりました。今年もよろしくお願いします (はるこ)



足場のあるうちに、みんなに塗装も手伝ってもらいました。

10 月 25 日金曜日。台風目前の不安の中、長い船旅を経たログ材が小菅村に到着しました。10 トンレッカー車で、一梱包 4 トンぐらいあるログ材 5 梱包を無事に降ろし終えました。梱包を解いて、これまでに整地～基礎～土台と準備してきた現場にログを積みはじめました。ログビルダーの若狭さん、キャンプ場の木下善晴さんを中心に、一段ずつ積んでいきます。最初のうちは、材料が多過ぎて順番に出していくのに苦労しましたが、だんだんと減る材料とともに家の形が出来上がっていきます。週末ごとに、皆さんにお越しいただき、電気配線も含めて、進めていただきました。



12 月 8 日までに、板金屋さん(屋根業者)に引き継ぐところまで終了。翌日には板金屋さんが来て、屋根を張り始めたので、雨も雪ももう大丈夫な状態で年を越すことができました。今後は、風呂、水回りを専門業者をお願いしつつ、床張り、建具の設置を行います。1 月 11 日を作業開始日の予定です。上棟式をやっていたなかったので、1 月 18 日には小さいながら、ご挨拶を兼ねて行います(ぜひ、お越しください～)。

木下善晴さんに、「昔から、家を普請するには、頭を 7 回下げるもんだ」と教わりました。

ご協力いただいた皆様に感謝をしながらの家づくりです。本当にありがとうございます！！



○ 今後の活動予定のお知らせ (2013 年冬～2014 年春)

2/15 第 10 回通常総会 @小菅村 植物と人々の博物館

3/8-9 のびと講座『小菅村での味噌づくり』@小菅村

3/28～30 冒険学校『みなかみ雪中キャンプ』@群馬県みなかみ町

5/3-5 冒険学校『むらまつりキャンプ』@小菅村

※2 月 15 日の総会後に、正式な年間予定が出ますので、よろしくお願いします。

○ 事務局より

● 気合を入れずに禁煙挑戦～。禁煙外来も行ってみました。で、口が寂しいのだけど、太らないように間食は控えて・・・2つのガマンは地味に厳しいな～。 クロ

● ついにシンクに薄氷が・・・もうすぐ水道管が破裂未遂をしたり、吐く息が室内なのにダイヤモンドダストのようにきらめく季節がくるんだなあ。早くあたたかいうちに住みたいです！！ はるこ

○ 事務局の麗しき日々

- ・甲斐がキャンプ初！上半身を負傷(ミニスキーでこけて、ムチウチ)
- ・「乗り鉄」とは、乗る方の鉄道オタクのことらしい(撮り鉄もある)。
- ・大ちゃんキャンプ場に来て、初めて体調崩さずに活躍。
- ・旭が前橋までチャリで行ったもよう。大変ヒマな学生なもよう。
- ・ごみさん、小菅の帰りに足に激痛で病院。検査の結果・・・TUUFUU！
- ・土居ちゃんがキャンプに女友達？を連れてきたよ～。
- ・風馬がバイクの免許を取って、バイクを買ったもよう(250CC)。
- ・木俣先生は、あと3ヶ月で大学教授を引退するもよう。
- ・だけど風馬のあだ名は同級生から「乗り鉄」と呼ばれているもよう。
- ・小林くんは免停 180 日(免除で 100 日)、チャリ通なもよう。

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか？

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』『ELF 環境学習中堅指導者のびと研修会』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 8 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額(1～12 月)です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正会員：10,000 円 一般会員：5,000 円

学生会員：3,000 円 賛助会員(個人・団体)：10,000 円

家族会員：6,000 円 特別維持会員：100,000 円

植物と人々の博物館友の会会員：3,000 円

小菅村特別会員：1 口 1,000 円から

郵便振替口座：00100-2-665768

口座名：特定非営利活動法人自然文化誌研究会



ナマステ 114 号

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

<発行日>2014 年 1 月 10 日

<編集>自然文化誌研究会 事務局

<発行>特定非営利活動法人

自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局>〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4115

TEL : 0428-87-0165

携 帯: 090-3334-5328(事務局黒澤)

E-mail: npo-inch@wine.plala.or.jp

H P: <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>